

## 資料展示目録

# 東国の都 — 群馬

期間:平成24年4月20日(金)～6月24日(日)

会場:群馬県立図書館 3階展示コーナー

群馬県立図書館では、県内の郷土資料の重点的な収集・保存・利用提供に努めており、これら貴重な郷土資料の中から、年4回テーマを決めて、特色ある資料を幅広く紹介する資料展示を行っています。

この資料展示では、古代東国の雄として栄えた群馬の文化遺産について、古墳をはじめとする遺跡群、国分寺などに関する資料を中心に展示します。

### 【展示資料について】

本展示は、関連の図書・雑誌等の一端を紹介するもので、全ての資料等を網羅的に紹介するものではありません。ここに示した80点の資料は、所蔵資料の一部です。

展示資料は通常主に2階調査相談室の郷土資料コーナーにあり、いつでも閲覧できます。複本がある場合には、展示期間中でも貸出のできるものがあります。なお、「\*」記号の付いたものは、一冊のみ所蔵あるいは雑誌類のため、貸出できない資料です。

展示されていない所蔵資料のことや展示資料の貸出等のご相談は、2階調査相談室で受け付けておりますので、お申し付けください。

## ○東国の雄、群馬

近畿地方を中心にヤマト王権が政治を主導していた古墳時代、現在の関東地方周辺は東国と呼ばれ、群馬はヤマト王権が関東から東北までの一帯を治めるための拠点として重視されていました。

群馬は最新の文化や技術を積極的に取り入れ、東国の中心として大きく発展しました。各地に残る遺跡や古墳などから、当時群馬がいかに繁栄していたかが伺えます。

- 1 古代東国の王者 上毛野氏の研究 熊倉 浩靖／著 改訂増補版 雄山閣 2008
- 2 東国と大和王権 原島礼二／編 金井塚良一 /編 吉川弘文館 1994
- 3 古代東国と東アジア 高崎市教育委員会／編 河出書房新社 1990
- 4 古代東国地域史と出土文字資料 高島 英之／著 東京堂出版 2006

- 5 東国あずま 毎日新聞社 毎日グラフ別冊 1987
- \* 6 東国千年の都 前橋・高崎の縄文時代 前橋市・高崎市教育委員会／編 2010
- 7 群馬の遺跡 古墳時代Ⅰ 群馬県埋蔵文化財調査事業団／編集 上毛新聞社 2004
- 8 群馬の遺跡 古墳時代Ⅱ 群馬県埋蔵文化財調査事業団／編集 上毛新聞社 2005
- 9 群馬の遺跡 古代 群馬県埋蔵文化財調査事業団／編集 上毛新聞社 2004
- 10 古代東国の王者 上毛野氏の研究 茜史朗／著 あさを社 1985
- 11 討論古代の群馬・埼玉 金井塚良一／ほか著 あさを社 1986
- 12 群馬県遺跡台帳 群馬県教育委員会／編 群馬県教育委員会 1971
- 13 古墳時代 右島 和夫／著 千賀 久／著 河出書房新社 2011
- 14 日本の古代遺跡17 群馬西部 田島桂男／著 保育社 1984
- \* 15 古墳時代毛野の実像 右島 和夫／編 若狭 徹／編 雄山閣 2011

## ○古墳に関する資料

群馬県内には、1万5千基近くの古墳があったと推測されています。中でも大型の前方後円墳は近畿地方に次いで多いことが分かっています。中でも太田天神山古墳は全長約210メートルの東日本最大の前方後円墳です。同時期に、東国ではこれほど大型の古墳は築かれておらず、群馬に強大な豪族が存在していたことが伺えます。

- \* 16 史跡天神山古墳・女体山古墳 保存管理計画書 太田市教育委員会／編 1984
- 17 天神山古墳外堀発掘調査報告書 太田市教育委員会／編 1999
- \* 18 上毛古墳綜覧 群馬県史蹟名勝天然記念物調査報告書 群馬県／編 1938
- 19 群馬県古墳概観 群馬県／編 群馬県 1936
- 20 古墳のはなし 尾崎喜左雄／著 世界社 1952
- 21 空からみた古墳 梅原 章一／写真 森 浩一／監修 学生社 2000
- \* 22 古墳考 上毛総社古墳群を中心として 湯浅文作／著 総社町国民学校 1941
- 23 古墳めぐりハンドブック 群馬県立歴史博物館友の会／編 1986
- 24 川井・茂木古墳群報告書 群馬県佐波郡玉村町教育委員会／編 2009
- \* 25 史跡大室古墳群 保存整備事業報告書 前橋市教育委員会／編集 2005
- \* 26 総社二子山古墳概説 豊国義孝／編 上毛郷土史研究会 1936
- 27 観音山古墳 環境整備事業第1年度概報 群馬県教育委員会／編 1977
- 28 築瀬二子塚古墳・築瀬首塚古墳発掘調査報告書 安中市教育委員会／編 2003
- \* 29 群馬県内の横穴式石室 中毛編 群馬県古墳時代研究会／編 2000
- 30 七輿山古墳発掘調査報告書 群馬県埋蔵文化財調査事業団／編 2010
- 31 前橋天神山古墳図録 前橋市教育委員会／編 1970
- \* 32 上野国総社二子山古墳の調査 日本古文化研究所／編 吉川弘文館 1974
- \* 33 上毛上野古墳記 芝溪吉田子正／著 総社史蹟名勝天然記念物保存会 1921
- \* 34 群馬県古墳の研究 多野郡吉井町稲荷塚古墳発掘調査報告 萩原進／著 文進社 1948
- \* 35 上野国佐波郡赤堀村今井茶臼山古墳 後藤守一／著 帝室（国立）博物館 1933
- 36 塚廻り古墳群 群馬県教育委員会／編 1980

- 37 塚廻り古墳群のはにわ 太田市教育委員会／編 1995
- 38 古墳と埴輪 最新情報展 群馬県教育委員会・群馬県埋蔵文化財調査事業団／編 2000
- \* 39 保渡田Ⅶ遺跡 保渡田古墳群に関連する遺構群 群馬県群馬町教育委員会／編 1990
- 40 上野国八幡観音塚古墳調査報告書 群馬県教育委員会／編 1963
- 41 史跡保渡田古墳群 井出二子山古墳 発掘調査概報 高崎市教育委員会／編 2006
- 42 もっと知りたいはにわの世界 古代社会からのメッセージ 若狭 徹／著 東京美術 2009
- 43 特別展 帆立貝形古墳を考える かみつけの里博物館／編 2003
- 44 全集写真探訪ぐんま 再発見一わがふるさと 上毛新聞社／編 第1巻 1984
- 45 群馬のはにわ 開館記念展 群馬県立歴史博物館／編 1979
- 46 開館30周年記念展 国宝 武人ハニワ、群馬へ帰る！ 群馬県立歴史博物館 2009
- 47 開館15周年記念事業 黄泉の国からのメッセージ～横穴式石室の景観と変遷～  
高崎市観音塚考古資料館／編 2003
- 48 はにわ 秘められた古代の祭祀（まつり） 群馬県立歴史博物館／編 1993
- 49 開館20周年記念 観音山古墳と東アジア世界 一海を越えた鏡と水瓶の縁－  
群馬県立歴史博物館／編 1999
- 50 企画展 群馬の古鏡 群馬県立歴史博物館／編 1980
- \* 51 時代が変わる道具も変わる 群馬県埋蔵文化財調査事業団／編 2005
- \* 52 企画展 副葬された器－古墳出土の須恵器 高崎市観音塚考古資料館／編 1997
- 53 はにわ人は語る 歴博フォーラム 国立歴史民俗博物館／編 山川出版社 1999
- \* 54 はにわうま 馬の博物館／編 馬事文化財団 2005

## ○遺跡群に関する資料

毛野政権が強勢を誇り、東国の雄として栄えていた群馬には三ツ寺Ⅰ遺跡、北谷(きたやつ)遺跡などに代表される豪族の居館址などの遺跡が数多くあります。

高崎市にある三ツ寺Ⅰ遺跡は全国でも初めて発見された古墳時代首長層の館です。高度な技術力と大量の労働力を背景に築造されたと考えられています。

- 55 古墳時代の地域社会復元・三ツ寺Ⅰ遺跡 若狭徹／著 新泉社 2004
- 56 豪族居館 三ツ寺Ⅰ遺跡のすべて－出土品を総覧する－かみつけの里博物館／編 2010
- \* 57 北谷遺跡 (古墳時代居住館跡) 範囲確認に伴う埋蔵文化財発掘調査  
群馬町教育委員会／編 2005
- 58 遺跡は語る よみがえる古代群馬 毎日新聞前橋支局／編 煥乎堂 1975
- 59 企画展 火の山はるな火山噴火と黒井峯むらのくらし 群馬県立歴史博物館／編 1990
- 60 中筋遺跡 第2次発掘調査概要報告書 茨川市教育委員会社会教育課／編 1988
- 61 目で見える群馬の遺跡 よみがえる古代の文化 煥乎堂企画室／編 煥乎堂 1985
- 62 上毛野君と国 藤田光政／著 関東古代史の起源(復刻版) 藤田光政 1998
- 63 群馬県の史跡 原始古代編 群馬県教育委員会文化財保護課／編 2001

## ○国分寺に関する資料

奈良時代の天平13(741)年、聖武天皇により国ごとに僧寺、尼寺の造立の命が下され、後に僧寺が国分寺と言われるようになりました。上野国の国分寺は今の前橋市、高崎市にまたがって作られ、全国でも早い時期である750年頃に主な建物が完成したとされています。

1380年頃には建物はなくなってしまったと言われていますが、大正15(1926)年に国の史跡に指定されました。

- 64 史跡上野国分寺跡発掘調査概要 群馬県教育委員会文化財保護課／編 1986
- \*65 上野国分寺古瓦紋様集 天田伝七郎／編 住谷修／解説 十日会 1957
- 66 史跡上野国分寺跡 発掘調査報告書 群馬県教育委員会文化財保護課／編 本文編 1988
- 67 史跡上野国分寺跡 発掘調査報告書 群馬県教育委員会文化財保護課／編 写真編 1988
- 68 上野国府と国分寺の歴史 矢野敬一／著 1980
- \*69 上野国分寺文字瓦譜 相川竜雄／編著 相川竜雄 1934

## ○上野三碑に関する資料

群馬には、総称して「上野三碑」と呼ばれる三つの石碑、「山上碑」「多胡碑」「金井沢碑」があります。国内に現存する平安時代以前の石碑はわずか18しかなく、「上野三碑」は、その重要性から、いずれも国の特別史跡に指定されています。

上野三碑の碑文からは、当時の地方行政制度や氏族同士のつながり、仏教信仰の広がりなど多くの事柄が読み取れます。

- 70 上野三碑 古代史を語る東国の石碑 松田 猛／著 同成社 2009
- 71 群馬の古碑 山田武磨／監修 早川光三郎／監修 上毛新聞社 1983
- \*72 上野三碑 群馬県多胡碑・山ノ上碑・金井沢碑 渡辺一弘 1997
- 73 多胡碑のはなし 吉井町多胡碑記念館 2005
- \*74 多胡碑集説 豊国義孝／編述 上毛郷土史研究会 1914
- 75 企画展 古墳からみた多胡碑 一多胡郡の古墳文化 吉井町多胡碑記念館／編 2007
- 76 特別展 かぶらの谷の響き 多胡郡の成立とその時代 多胡碑記念館／編 2011
- 77 多胡碑 その背景を探る 荒竹清光ほか／著 あさを社 1983
- 78 多胡碑 国指定特別史跡 吉井町多胡碑記念館 2005

- ~~~~~
- \*79 全国遺跡地図 群馬県 文化庁文化財保護部／編 1977
  - 80 畏れと祈り 群馬の埋蔵文化財 宗左近／ほか監修 能登健ほか／解説 上毛新聞社 1997

編集・発行 群馬県立図書館（前橋市日吉町1-9-1）  
電話 027-231-3008